

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅰ 急性期援助論	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和5年6月5日	単位数/時間	1単位/30時間 以下の3単元で構成される ①急性期援助論：10時間 ②回復期・慢性期援助論：12時間 ③終末期援助論：8時間
担当講師名	外部講師 古舘 勇一	所属/役職	県立宮古病院 看護師
		資格・免許	救急看護認定看護師
授業の概要	急性期にある対象の具体的な看護実践の内容と方法を理解する 1. 手術後患者の看護（総論） 2. 集中治療を受ける患者の看護（心臓手術を受ける患者の看護含む） 3. 救急看護		
到達目標	1. 手術後患者の予測される経過と必要な看護が理解できる 2. 集中治療を受ける患者に必要な看護が理解できる 3. 心臓手術を受ける患者の看護が理解できる 4. 救急患者のアセスメントができ、応急処置の方法が理解できる		
事前学習内容	毎回テキストを読んで予習してくる		
成績評価の方法	筆記試験 100点 3単元の平均点が科目の成績評価となる。 各単元で6割に満たない場合は再試験となる。		
使用テキスト	(1)医学書院 クリティカルケア看護学 第2版第4刷 (2)医学書院 臨床外科看護総論 第12版第1刷 (3)医学書院 臨床外科看護各論 第10版第1刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	手術を受ける患者の看護（術前・術後）：総論 テキスト(2)第6章(感染予防は除く)、第7章、第9章 ※第8章の手術中の看護は除く		講義
第2回	集中治療を受ける患者の看護〈1〉テキスト(1)第1章、2章、3章		講義
第3回	集中治療を受ける患者の看護〈2〉テキスト(1)第4章		講義
第4回	心臓手術を受ける患者の看護 テキスト(3)第2章 P74～156		講義
第5回	救急患者のアセスメント テキストなし ・急性症状への応急処置、ショックへの対応 ・外傷・熱傷・中毒への応急処置 ・熱中症・低体温症への応急処置		講義
履修上の留意点	分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		